

## 事業者温室効果ガス削減計画書概要（第二計画期間）

### 1 事業所の概要

事業者の名称	地方独立行政法人宮城県立こども病院		
事業所の名称	地方行政法人宮城県立こども病院		
事業所の所在地	仙台市青葉区落合四丁目3-17		
主たる事業	医療業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	高度小児専門医療機関として地域医療機関との連携を推進し、医療・療育を継続的に提供する医療事業において、温室効果ガスを多く排出していることを意識し、環境及び省エネルギーに関する法令を遵守するとともに持続可能な社会の実現に向けて組織的に削減計画に取り組む。		

### 2 温室効果ガスの削減目標等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標 ・ 非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	5,485 t-CO2	基準原単位	0.1966
	目標年度	2025 年度	目標排出量	5,353 t-CO2	目標原単位	0.1918
			削減率	2.40 %	削減率	2.44 %
			非化石電気	12.00 %	その他非化石エネルギー等	3.00 %
	目標設定の考え方	エネルギー管理標準に基づき省エネに努め、削減率として、毎年0.8%、3年間で2.4%を目標とする。エネルギー管理標準に基づき、設備・機器類更新時における効率化とエネルギー使用設備の運用見直しを進め、温室効果ガス削減と環境負荷の軽減に取り組む。				

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施計画	基準年度実施率	100 %	目標年度実施率	100 %
	項目			実施年度
選択対策の実施計画	外部機関による省エネ診断			実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）			実施済
	エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見）			実施済
	ボイラーの運転効率管理			実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理			実施済
	蒸気トラップの管理			実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理			実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理			実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御			実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理			実施済
その他の対策の実施計画	項目	具体的な取組内容		実施年度
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	通勤距離による自動車通勤の抑制及び公共交通機関の利用促進に努めている。		実施済
	環境教育・学習の実施（従業員以外を対象にしたもの）	デジタルサイネージを活用し、当院の再生可能エネルギー（太陽光発電・同蓄電システム）利用状況の周知を図っている。		実施済
	廃棄物削減対策の実施	多量排出事業者として、産業廃棄物の減量計画書・同適正処理に関する実績報告書を提出。電子マニフェスト制度を利活用し、特別管理産業廃棄物処理計画書・同実績報告書を作成している。廃棄物の分別に関する意識付けを事業所内で周知し、排出量の抑制と適正化を図っている		実施済
	グリーン調達の実施	法令に基づき、グリーン調達実施計画を策定し、積極的にグリーン調達の度合いを高めるよう努めている。		実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	E S C O事業・スマートエネルギーシステム導入事業において、補助金を活用した設備更新を行い、10%以上の削減効果を得ている。10年以上の実績を上げ、温室効果ガス排出抑制に貢献している。		実施済
	D R（デマンドレスポンス）の実施	医療機関の特殊性から安定的に電気の供給を受ける必要から可能な範囲でD Rの実施に努めている。		実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	医療機関として可能な範囲で市が実施する環境関連事業への参画に努めている。		実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	医療機関として可能な範囲で、エネルギー使用の多重化・多様化を図り、エネルギー管理標準や事業継続計画（BCP）に基づいた地球温暖化防止対策を実施する。		実施済